

## OECC行事・部会活動等（その82）

（令和2年1月1日～3月31日）

### ＝ 主な行事 ＝

#### 令和元年度第3回理事会

日 時：令和2年3月13日（金） 10：30

場 所：OECC 大会議室

議 題：令和2年度事業計画及び予算、定時社員総会日程、部会活動報告 他

\* 理事会冒頭に、環境省国際連携課 大井 通博 課長からご挨拶があった。

#### 第9回 OECC/SuSPCA 合同セミナー 「海洋プラスチックごみ問題と廃棄物管理」

日 時：令和2年2月5日（水） 13：30-16：40

場 所：エッサム神田ホール2号館 601

プラスチックごみによる海洋等の環境汚染が国際的に問題となり、EUでは使い捨てプラスチックゼロに向けた「プラスチック戦略」の策定などの取り組みが進められ、日本においても「プラスチック資源循環戦略」が策定されるとともに、昨年6月に大阪で開催されたG20サミットでは「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」が作られるなど、海洋プラスチックごみ問題に対応する対策と廃棄物管理が大きく進展しています。

これを背景として、OECC と SuSPCA（（一社）持続可能社会推進コンサルタント協会（旧日本廃棄物コンサルタント協会））の共催により、第9回 OECC/SuSPCA 合同セミナー「海洋プラスチックごみ問題と廃棄物管理」を開催しました。当日は予定数を上回る100名を超える方々のご参加をいただきました。

[発表・登壇者（敬称略）]

第1部：海洋プラスチックごみ問題の状況

・「海洋プラスチックごみを巡る国際的動向と国内取組」

環境省 水環境課課長補佐 伊藤 史雄

・「海洋プラスチックごみにかかる国際協調について

－ASEAN諸国への協力とマイクロプラスチック調査方法の調和化」

いであ（株） 特任理事海外事業部技師長 吉田 和広

・「海洋プラスチックごみ問題の諸相とテクノロジーの活用」

（株） / （一社）ピリカ 研究員 三輪 芳和



第2部：プラスチックごみ削減に向けた取組と国際協調

・「プラスチックごみ削減に向けた国内政策」

環境省 リサイクル推進室長 富安 健一郎

・「プラスチックごみ削減にかかる欧米等の取組動向」

（公財）地球環境戦略研究機関

プログラムマネージャー 粟生木 千佳

・「プラスチックごみ削減にかかるプラスチック素材・製品業界の取組」

（一社）日本化学工業協会化学品管理部 部長 樋口 俊彦

[OECC 設立30周年記念誌企画・編集委員会開催]

日 時：令和2年1月23日（木） 16：00-17：00

場 所：OECC 大会議室

OECC 設立30周年記念座談会を踏まえた OECC 活動の将来展望、OECC 設立30周年記念式典・シンポジウムの企画及び会報89号企画案について意見交換・議論を行いました。

\* 広報部会との合同開催。

#### OECC会員セミナー

日 時：令和2年1月23日（木） 17：15-18：15

場 所：OECC 大会議室

昨年12月にマドリッドで開催された国連気候変動枠組条約第25回締約国会議（COP25）ほかの結果について環境省市場メカニズム室地球環境問題交渉官の永森一暢氏より、COP25 サイドイベント等の報告について OECC 理事・業務部長の加藤真より発表されました。また、OECC 参与・技術総括の大村卓より本年1月にバンコクで開催された「日本・タイ環境ウィーク」の結果が報告されました。

### ＝ 部会活動 ＝

[技術・研修部会開催]

日 時：令和2年3月3日（火） 16：30-17：40

場 所：OECC 大会議室

OECC/SuSPCA 合同セミナーに関する報告、及び2020年 OECC 会員向けミャンマー環境開発調査・技術交流ミッションの派遣企画の検討が行われました。

[広報部会開催]

日 時：令和2年1月23日（木） 16：00-17：00

場 所：OECC 大会議室

\* 記念誌企画・編集委員会との合同開催。

発行 一般社団法人 海外環境協力センター  
〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33  
フロンティア御成門3階  
(03)5472-0144(代) Fax(03)5472-0145  
ホームページアドレス：<http://www.oecc.or.jp/>

●当冊子の印刷には、古紙を配合した再生紙及び植物性大豆インキを使用しています。